

事務事業名	ハーモニープラン推進会議開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4004										
	☐ 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	次長 野澤 浄										
			所属担当	男女共同参画担当		担当者名	杉山 寿美江										
基本政策	基本計画	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画	05	男女共同参画社会づくりの推進	事業区分	01	一般	0	2	0	1	0	8	0	2	0	0	5
施策	体系	07	男女共同参画社会づくりの推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 H17 年度)	法令根拠	男女共同参画推進条例													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)													
	男女共同参画基本計画(ハーモニープラン)を計画的に進め男女共同参画を多くの市民に浸透させるため推進会議を開催し推進に努める。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
	・組織 委員数 35名(関係団体代表・学識経験者・事業者・公募による者)			非常勤職員報酬 130													
	任期 2年			普通旅費 23													
	・活動内容 推進会議全体会は毎月1回 部回(3部会)については随時開催。啓発等を行い推進活動を行っている。			計 153													

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	推進会議毎月1回 研修会 随時 各部会における活動
23年度活動予定	推進会議毎月1回 研修会 随時 各部会における活動
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
①ハーモニープラン推進委員	
②基本計画の事業	
③市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
ハーモニープラン推進委員の活動により基本計画を総合的且つ計画的に進め推進を図る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画の実現を目指し、男女共同参画基本計画の施策に反映させる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 推進会議開催回数	回
イ 啓発活動回数	回
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 推進委員数	人
イ 基本計画事業数	事業
ウ 人口	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 男女共同参画社会に向けた活動の機会についての住民満足度	%
イ 実施事業数	事業
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ハーモニープラン数値目標の達成件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	249	153	214	164	164	164	
		事業費計 (A)	千円	249	153	214	164	164	164	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	480	480	480	480	480	480	
		人件費計 (B)	千円	2,141	2,141	1,902	1,902	1,902	1,902	0
		(A)+(B)	千円	2,390	2,294	2,116	2,066	2,066	2,066	0
活動指標		アイウ	回	14.0	14.0	15.0	15.0	15.0		
		アイウ	回	3.0	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
対象指標		アイウ	人	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
		アイウ	事業	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
		アイウ	人	72,869.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	
成果指標		アイウ	%	24.0						
		アイウ	事業	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	
上位成果指標		アイウ	件	30.0	30.0	40.0				
		アイウ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたか?	平成17年3月に制定されたハーモニープランを計画的に進めるため設置された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	国、県、市町村とも男女共同参画社会実現のための推進体制は整備されているが人の意識の問題であり全体への浸透には時間がかかる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	「男女共同参画」ということばに拒否反応を示す人、また一部の人たちの問題や関心ごとと思われがちであり、市民にその内容が正しく理解されていないという意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	推進会議の効果的、効率的な運営のため推進委員が改革改善案を提案した。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	定例会のスムーズな運営のために正副会長・部会長会議を開催し会議に臨んだ。

事務事業名	ハーモニープラン推進会議開催事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 男女共同参画社会を進めるためにハーモニープラン推進会議は推進体制の中心である。このため施策に結びついている。		
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 男女共同参画社会の実現は、国においての最優先課題と位置づけられ、県や市町村においてもこのことについての施策が求められている。このため市の関与は妥当である。		
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] ハーモニープラン推進会議が、ハーモニープランを計画的に推進し、市民に男女共同参画を理解してもらう事業なので適切である。		
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 会議の進め方、事業内容等を見直すことで成果を向上させることができる。		
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない		
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 男女共同参画の推進はすぐに成果が表れるものではない。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 男女共同参画の推進はすぐに成果が表れるものではない。そのために継続して事業を行う必要がある。		
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 事業費は主に推進委員の報酬であり削減余地はない。		
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 市民との協働事業であり削減余地はない。		
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 推進委員は特定の人であるが、公募委員も含まれている。また事業も市民全体を対象としているため公平公正である。		

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	男女共同参画の推進は時間や手間がかかるが、引き続き推進会議を中心に創意工夫しながら推進を図っていく。また会議等の進め方、事業の実施方法を見直し成果を向上させる必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
① 推進会議が自主的に企画し、市民に周知しながら推進を図っていく。																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① 推進委員の意識改革、学習会の開催		成果優先度評価結果	⑥																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					